

平成22年度補正予算の概要（震災関連）[平成23年3月31日専決処分]

宮 城 県

予算編成の考え方

東日本大震災に対応するため計上した予備費などについて、災害復旧工事などの執行状況に応じて減額

歳入予算では、震災により減収が見込まれる軽油引取税や個人県民税などの県税について減額する一方、今後の復興財源を確保するため、退職手当債を再度予算化するとともに、財政調整基金及び県債管理基金からの取崩を一部取り止めるなど、可能な限りの財源を確保

震災対応予算の編成状況

・ 2月補正（3月追加）	20,000	百万円（一般会計・予備費）
・ 補正専決（3月16日）	4,835	百万円（特別会計等・災害復旧費）
・ 補正専決（3月28日）	12,904	百万円（一般会計・災害救助費）
・ 補正専決（3月31日）	7,679	百万円（一般会計等・予備費の減額等）
計	30,060	百万円

予算規模

（単位：百万円，％）

区 分	現計予算 (3/28専決処分後)	今回補正額 (3/31専決処分)	補正後現計予算	補正後現計予算 対前年度増減率
一 般 会 計	901,747	7,321	894,425	0.4
特 別 会 計	238,941	100	238,841	14.5
準公営企業会計	27,873		27,873	23.2
公営企業会計	60,874	258	60,616	15.7
計（総会計）	1,229,434	7,679	1,221,755	3.4

四捨五入のため積上げと計の一致しない箇所がある

【一般会計の主な財源】

- ・ 県 税 3,540百万円（軽油引取税 22億円、個人県民税 15億円等）
- ・ 地方交付税 1,029百万円（特別交付税）
- ・ 繰 入 金 18,940百万円（県債管理基金 110億円、財政調整基金 79億円）
- ・ 県 債 13,459百万円（退職手当債81億円、災害復旧債20億円等）

【一般会計の主な歳出】

1 予備費 90億円（既決200億円、所要額110億円）

< 所要額の主な内容 >

- ・ 災害調査復旧費（道路等） 24億円 災害調査、緊急輸送道路などの応急復旧等
- ・ 災害調査復旧費（河川） 20億円 災害調査、破堤復旧、河道閉塞区間復旧等
- ・ 災害調査復旧費（港湾） 13億円 災害調査、浮遊物撤去、施設補修等
- ・ 災害復旧費（下水道） 20億円 処理場補修等
- ・ 漁港等流木撤去費 7億円 気仙沼、浦の浜、志津川、女川、石巻
- ・ 災害復旧費（石巻合同庁舎） 3億円 庁舎補修

2 人件費 15億円

- ・ 時間外勤務手当 13億円 捜索活動、災害業務等
- ・ 特殊勤務手当 2億円 災害応急作業等